

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成 28 年 2 月

1. 対象事業	柏市合流式下水道緊急改善事業					
2. 実施主体名称	柏市					
3. 計画期間	平成 21 年度～平成 25 年度					
4. 対象事業の進捗状況						
①汚濁負荷量の削減 篠籠田貯留場にて、既存の貯留施設 5,670m ³ に加え、500m ³ の貯留施設の増設を平成 24 年度に完了した。 ②公衆衛生上の安全確保（未処理放流回数の半減） 第 4-1 処理分区の分水人孔において、堰の嵩上げを平成 24 年度に完了した。 ③きょう雑物の削減対策 第 4 処理分区、第 4-1 処理分区の分水人孔において、水面制御装置の設置を平成 24 年度に完了した。						
5. 目標の達成状況と達成の見通し						
< 目標の達成状況 >						
	改善項目	評価指標	対策前	改善目標	事後評価 (平成 25 年度)	
①汚濁負荷量の削減		BOD 放流負荷量	77,743 kg/年	40,131 kg/年	39,000kg/年	
②公衆衛生上の安全確保		年間越流回数	柏第 4	92 回/年以下	46 回/年	41 回/年
			柏第 4-1	90 回/年以下	45 回/年	40 回/年
③きょう雑物の削減		きょう雑物除去施設設置箇所数	0 箇所	2 箇所	2 箇所	
平成 25 年度までには貯留施設の増設・堰の嵩上げ・スクリーン等の設置を実施し、改善目標を全て達成している。						
6. 対象事業の整備効果の発現状況等						
処理区内でこれまでに設置されてきた対策施設により、汚濁負荷量の削減目標に対して 103%、公衆衛生上の安全確保目標に対して 111%を達成している。 また、雨水吐きのきょう雑物除去対策は、全ての雨水吐きに水面制御装置を設置済みであり、きょう雑物（ゴミ、吸殻、ビニル、塵芥類、汚物等）の河川への流出量を削減している。 また下水道法施行令第 6 条第 2 項等に基づく、吐口および処理場の放流水質の調査結果から算出した、処理区の放流水質（BOD）は 15mg/L（平成 27 年 1 月 15 日調査）となっている。						
7. 事業の効率化に関する取り組み状況						
スクリーン施設について、SPIRIT21 等や水面制御による合流改善技術の比較検討を行い、最も経済性に優れた水面制御装置を採用した。 また、分流化済み区域や設置済みの浸透施設、既存貯留施設を活用し、効率的、経済的な対策を実施することができた。						
8. 今後の方針						
事業の完了により、平成 25 年度までに当面の改善目標を達成している。 今後は分流化を進め、更なる放流回数削減、汚濁負荷量削減のための取り組みを進めていく。						